

¡Feliz cumpleaños! - Feliz aniversario! -

お誕生日おめでとう!

«Olé»

21 de enero/janeiro, 2012

うた：峰 万里恵

コントラバス：齋藤 徹 ギター：高場 将美

I

1. このおかしな人生 *Estranha forma de vida*

ファド (ポルトガル) 作詞：アマーリア・ロドリゲシュ Amália Rodrigues

曲：アルフレード・マルスネイロ Alfredo Marceneiro

小学生のころ、詩に対する感受性の豊かさで先生をおどろかせたアマーリアさんは、じぶんで作詞もしました。伝統的なファドでは、まず歌手が詩または歌詞を選び、そのあとで既成のパターンの中から、その歌詞にふさわしい曲（メロディ）を見つけます。アマーリアさんは、この歌詞のために選んだのは、ファドをうたう男性の最高峰で、非常にことばを大事にしたマルスネイロ作の『ファド・バイラード *Fado bailado*』という曲でした。アマーリア作といってもいいくらい、歌詞に合わせて曲想を変えています……。

神様の意思だった——わたしが、このように思いまどいながら生きているのは。そして、すべての「アイ！」はわたしのもの、わたしのサウダードも。——神様の意思だった。

なんという変わった生きかたを、このわたしの心はもっているのだろう。なくしてしまった命で生きている、だれか運命を変える魔法の杖をあげればいいのか——なんという変わった生きかた！

ひとり立ちしている心、わたしの

命令をきかない心。おまえは人々のなかで道をなくして生きている、かたくなに、血を流しながら——ひとり立ちしている心。

わたしはこれ以上おまえについていかない。生まれ、鼓動をやめなさい。どこへ行くのか知らないくせに、なぜ走りつづけることに、こだわるのだ？——わたしはもう、おまえといっしょには行かない。

* サウダード(ブラジルでの発音サウダーチ)には郷愁も含まれますが、失ったもの、ここにはないもの・人を愛している悲しい感情です。

2. ラス・マニャニータス *Las mañanitas*

メキシコ伝承曲 Tradicional mexicano

題名は「小さな（愛らしい）朝」というような意味ですが、メキシコではひとつの音楽ジャンル名で、元来は祭りの日の朝にうたう挨拶の歌、恋人ほか愛する人や尊敬する人にささげる曲のことです。つまりセレナータ（元来は夜のしらべ）の早朝ヴァージョンなわけですが、いつのころからか、誕生日を祝う形式になり、そのパーティが開かれる夜に歌われることのほうが多いようです。

このマニャニータスは、ダヴィデ王がうたっていた曲。きれいな女の子たちに、それをわたしたちが、ここでうたいます。

街角の夜番が、わたしにいいことをしてくれればいいな。彼のランプを消してくれればいい、わたしの愛するひとが通るあいだ。

目を覚ませ、わたしのいい人、目を覚ませ。見て、もう夜が明けました。もう小鳥たちがうたっている。そして月はもう隠れた。

なんと美しい朝だろう。わたしがあなたに挨拶しに来た朝。わたしたちはみんな気持ちよく、よろこびをもって、あなたをお祝いに来ました。

あなたの生まれた日には、すべての花たちが生まれた。そして洗礼の水盤では、ナイチンゲールたちがうたっていた。

もう夜が明けてくる。もう朝の光がわたしたちに当たった。朝に起きなさい。見て、もう夜が明けました。

わたしはちっちゃな太陽になりたい、あなたの窓から入るため。そして朝の挨拶をしたい、ベッドに横になっているあなたに。

ジャスミンやほかの花たちを持って、きょうわたしは、あなたに挨拶に来ました。きょうはあなたの誕生日だから、わたしたちはあなたにうたいに来ました。

3. イ（そして）… Y…

ボレーロ (ドミニカ共和国) 作詞作曲：マリオ・デ・ヘスース Mario de Jesús Báez

スペイン語の「そして」は「イ」1音なので、下手な歌詞では調子を整えるために使いすぎたりしています。この曲は、ほとんどすべての詩句を「イ」ではじめるという着想。濫用濫用されたりします。作者はドミニカ共和国出身で、1940年代後半にニューヨークで芸能雑誌の編集長となり、ラテンアメリカ各国の刊行物にも記事を書きました。1950年代には、アメリカ屈指の音楽出版社につとめて、メキシコをほぼ本拠地にして活動しました。平行して（作曲の才能は生まれつきあったので）音楽技術の勉強をして自分の曲も発表し、ヒットを出しました。いちばん国際的に受けたのは『チャチャチャ・フラメンコ』ですが、ラテンアメリカでは、1960年のこの曲ほか、甘いボレーロの歌曲が広く愛されています。

そしてあなたは わたしに誓った愛をどうしたのか？ そしてあなたは わたしがあげたキスをどうした？ そしてあなたは わたしにどんな言い訳ができるのか、わたしの中にあった希望を裏切り 殺してしまっ

て。そして わたしを傷つける運命のなんと不当なこと！ そして わたしの情熱の理由のなんと不条理なこと！ そして この愛のなんと愚かなこと——死のうとはせずに、あなたの裏切りを許すほうを選ぼうとしている！

そして 思えば わたしの人生で

4. ラ・ジョローナ (泣き女) *La llorona*

メキシコ伝承曲 Tradicional mexicano

夜おそろしい声で泣く「泣き女」の伝説は、アメリカ合衆国南部から大陸の南端チリまで、今日まで約500年あまり伝わってきました。発祥地はメキシコ市らしいです。この曲の歌詞は、亡霊への恋歌？ 先住民の文化が独自の濃い空気を生んでいる、神秘の土地オアハカ州の伝承曲です。

みんながわたしをネグロと呼ぶ、ジョローナ。黒いけれども愛情深い。わたしは緑のチリのよう、辛いけれども味がいい。

アイ、あわれなわたし、ジョローナ！ たとえ命を落としても、わたしはおまえを愛すのをやめない。

ある日おまえは教会から出てきた、ジョローナ。通りすがりにおまえを見たとき、美しいウィピル（先住民の袖なしブラウス）を着ていたおまえを、わたしはマリア様だと信じた。

あなたは炎だった。そして わたしの栄光のほとぼしりが、あなただった。そしてわたしは 魂こめて あなたを愛すようになった。そしてきょう、あなたの行動は わたしを悲しみで殺す。

そして 誰のせいなのか？——言ってください——あなたがわたしを見捨てるのは？ そして どの道筋であなたの約束は迷ったのか？ そして真実を言うなら わたしはあなたを許す。そしてあなたをわたしの思い出の中に連れてゆく 神様のそばまで。

アイ、あわれなわたし、ジョローナ！ 百合の野のジョローナ。恋のことを知らない者は、受難がどんなものか知らない。

わたしが、もっとおまえを愛すことを望んでいるのか、ジョローナ。もう、おまえに命を上げてしまったのに、これ以上何がほしいのか？

アイ、あわれなわたし、ジョローナ！ わたしを川へ連れて行って、おまえのレボソ（女性のかぶる大きなショール）をかぶせておくれ。わたしは寒さで死んでいくのだから。

5. ウパカライの思い出 *Recuerdo de Ypacaraí*

グワラニア (パラグアイ～アルゼンチン)

作詞：スレーマ・デ・ミルキン *Zulema de Mirkin*

作曲：デメトリオ・オルティース *Demetrio Ortiz*

作曲者はパラグアイ人の歌手・朗読家でギタリスト、政治的理由で母国を離れ、アルゼンチンで一生を終えました。この曲は、故郷のウパカライ湖のほとりでの実体験をもとに作曲。パラグアイ先住民のことばグワラニ語で歌詞をつけていました。後年、アルゼンチンの女性詩人がスペイン語歌詞をつけ、広く愛されています。

ある暖かい夜、わたしたちは知り合った、イパカライの青い湖のほとり。あなたは悲しげに、道すがらうたっていた、グワラニ語で、古いメロディの数々を。

そして、あなたの歌の魔力とともに、わたしの中に あなたへの愛が生まれていった。満月の美しい夜の

中、あなたの白い両手から、わたしに伝わった熱と愛情。

どこにいる？ むすめよ。あなたの柔らかい歌声は わたしのところにとどかない。すべてがあなたを思い出させる、イパカライの青い湖のほとり。わたしの愛はあなたを待っている、むすめよ。

6. あなたのゆえに *Por causa de você*

サンバ (ブラジル) 作詞：ドロリス・ドゥラン *Dolores Duran*

作曲：アントーニオ・カルロス・ジョビーン *Antonio Carlos Jobim*

ブリオのあるナイトクラブで、ジョビーンが弾いて聞かせたこのメロディに、深く感動したドロリスが、（詩人ヴィニーシウスが作詞することになっていたのに）「わたしでなければ作詞できない」と、ひと晩で歌詞をつけてきました。彼女は、英語やフランス語でもうたう、人気者のポピュラー歌手でした。

ああ あなたの目に見えるのはただ わたしがどのようになったのか、そして すべてがどうなってしまったかということ。こんなに大きな悲しみ——あなたが手をふれた いちばん単純なものたちにまでも。

わたしたちの家は、愛するひと、もう慣れていた あなたを待ち受けていることに。窓辺の花たちは ほほえんでいた うたっていた、あなたのゆえに。

さあ わたしのいい人、もう決して、お願いだから、わたしたちを置いていかないで。わたしたちは人生と夢。わたしたちは愛そのもの。

入りなさい いい人、お願い、悪い世界に ふたたびあなたを 連れて行かせないで。

ただわたしを抱いてください。話してはいけな、思い出してはいけな、泣いてはいけな、わたしのいい人。

7. アリス Alice

タンゴ (アルゼンチン) 作曲: エドゥワールド・アローラス
Eduardo Arolas

ギター・ソロでおとどけします。1920年発表のタンゴ。この曲をつくってすぐ、作者(バンドネオン奏者)は、アリス・レサージュさんと、長いヨーロッパ旅行をしました(仕事ではなく)。



あなたがわたしに言い返して、なにかしやれたことを言うと、恥ずかしさは身を隠してしまう。なぜならそこに現れるのは、民族の誇るいたずら心。この森のにおいには、真実のにおいがある……

サウダーヂとか 悲しみとか……
その単純な美しさ——あなたの黒いからだは、モレーナ、人を狂わせる。わたしにはなぜだか よくわからない、ただわたしは命のなかに感じる あなたから出てくるものを。

II

Otoño Porteño



1. ブエノスアイレスの秋 Otoño porteño

タンゴ (アルゼンチン)

作曲: アストル・ピアソラ Astor Piazzolla

コントラバス・ソロです。1969年発表のタンゴ。作者(バンドネオン奏者・編曲指揮者)が、単なる「異端児」ではなくて、新しいタンゴの全面的な創造者であることが認められ、広く愛されるようになりはじめた時期の曲です。

2. 罪の色 Da cor do pecado

サンバ (ブラジル) 作詞作曲: ボロロー Bororó

作者(本名アウベルト・ヂ・カストロ・シモンイス・ダ・シウヴァ 1898-1986)が小学生のころ、家にボロロー族(アマゾンの先住民)が訪ねてきたのが話題になり、彼の通称になってしまいました。父親からギターを習い、子どものころから歌い、一生をポエーミオ(ボヘミアン)として過ごしました。ポエーミオというのは、夜のカフェや酒場で生きている、人生そのものが大衆芸術のような人のことです。ボロローは、偉大なポエーミオだった父の跡を継いで、コパカバーナ地区の夜の街を根城に、リオ最高のポエーミオと讃えられて(?)いました。この曲は1939年のヒットです。

この黒いからだ——いいにおいのする すてきな あなたのもっているからだ。それは細いからだ。罪の色をしていて、よく似合う。

この 濡れたキス——スキャンダルを起こすような あなたがわたしにくれたキス。それがどこにもない味。キスされたわたしたちは 決して忘れられなかった味。

3. 祈り Prece

ファド (ポルトガル) 作詞: ペドロ・オーメン・ド・メロ Pedro Homem de Mello

作曲: アラン・ウルマン Alain Oulman

ポルトガルの、もっとも愛読されている詩人のひとり(北部出身)に、アマリアさんが歌うために、ファドに新しいメロディをもたらした音楽家(リスボン近郊生まれのフランス人)が作曲しました。

たぶん わたしは浜辺で死ぬのか、わたしを裏切りの水に漬ける 浜のすべての水泡に囲まれて、じぶんの羊の群れのまんなかで 気を失う羊飼いのように。

ぬのか、囚われているまっただなかで。そして格子の向こうの世界は、サウダードたちを忘れてしまいうらう——。わたしの心臓をかじるサウダードたちを。

たぶんわたしは街の通りで死ぬのか。とつぜん わたしに通れなくなった路。月のない、つめたい夜。月は 通りの石たちのきょうだい、あらゆる人に踏まれた石たちの。

たぶんわたしはベッドの上で死ぬのか。そこでは死ぬのは自然なこと。胸の上に十字に組んだ両手、神の両手にすべてを受け入れられて。

でもわたしは ポルトガルで死にますように。

たぶんわたしは格子のあいだで死

4. ラス・シウダーデス (街たち) Las ciudades

ランチェーラ (メキシコ)

作詞作曲: ホセ・アルフレード・ヒメーネス José Alfredo Jiménez

ランチェーラは、1930年代に田園メロドラマ映画の挿入歌として生まれた歌謡曲のジャンルです。この伝統に、新しく1950年代から、深い感情をもちこみ、より豊かな人間性をもった歌曲をつくった人がホセ・アルフレードで、数々の女性の愛を獲得し、失い……それがすべて、たくさんの珠玉の歌になりました。

あなたがやって来るのを わたしは見た。そして感じた、未知のものの存在を。あなたがやって来るのを

わたしは見た。そして感じた、決して一度も感じたことのないことを。

わたしは あなたを愛したかった。
それでも あなたの愛は火ではなかつた、炎ではなかつた。

距離が 街たちを離ればなれに
してしまう。街たちは 古くからのな
らわしを 破壊してしまう。

わたしはあなたに さようならを
言った。そしてあなたは頼んだ、決
して あなたを忘れないようにと。

わたしはあなたに さようならを
言った。そして感じた、あなたの愛

から ふたたび 不思議な力を。
そしてわたしの魂はすっかり 氷で
おおわれてしまった。そしてわたし
のからだのすべては 冷たさで満ち
た。

そしてわたしはほとんど、あなた
の世界を変えるところだった。あなた
の世界を変え、わたしの世界と。

……距離が 街たちを離ればなれに
してしまう。街たちは 古くからのな
らわしを 破壊してしまう。

5. ククルククー・パローマ

Cucurrucucú paloma

ウワパango(メキシコ) 作詞作曲: トマス・メンデス *Tomás Méndez*

ウワパangoは、メキシコのフォルクローレで、元来は歌付きの舞曲でした。現代
では、ダンスはなく歌謡ジャンルとして愛されています。この曲の作者は、ギター
も弾けず、自分でうたって(プロ歌手ではありません)作曲しました。

人は言う、夜ごとと夜ごと、彼はた
だただ 泣くばかりだったと。眠ら
なかった、ただただ 飲むばかりだ
ったと。

人は誓って言う、空さえも 彼の
泣き声が聞こえると ふるえていた
と。彼女ゆえに どんなに悩んだこ
とだろう。死ぬときも、彼女の名前
を呼びながら行った。

ククルククー うたっていた。ハ
ハハハハ 笑っていた。アイアイ
アイアイアイ 泣いていた。命がけ

の情熱で 死んでいった。

とある1羽の悲しい鳩が、朝とて
も早くから 彼女にうたいに行く。
1軒だけ離れた小さな家、両開きの
扉が 並んでついている。

人は誓って言う、あの鳩は 彼の
魂に ほかならないと。まだ彼女を
待っている——不幸をもたらす女が
帰ってくるのを。

ククルククー 鳩よ、ククルクク
ー 泣くな。石たちは 決して、鳩
よ、愛のことなどわかりはしない。

6. アイ・アモール(ああ 愛よ) *Ay amor*

ボレーロ(キューバ) 作詞作曲: ボラ・デ・ニエーベ *Bola de Nieve*

作者は、真っ黒い、丸々とした顔のピアニストです(後に歌手・エンターティナ

ーとして成功)。「雪のボール」という芸名は、彼に伴奏してもらっていた女性歌
手が冗談に付けたものです。

愛するひと、わたしは知っている、
あなたが わたしの夢を持っていこ
うとしているのを。あなたは また、
わたしの魂も 持って行くことができ
るのを。

でも、愛するひと、もしあなたが
わたしの魂を持っていくのなら わた
しから持って行ってください、痛みも
また。

あなたの中に持っていきなさい、わ
たしのなぐさめのなさを、すべて。そ
してまた わたしの悩みのうたを。

愛するひと、わたしに命を残してく
れるのなら わたしに残してください、
感じる魂もまた。

わたしの中に残るものが 痛みと
命だけなのなら……愛するひと、わた
しを生かしておかないでください。

7. 想いあふれて *Chega de saudade*

サンバ(ブラジル) 作詞: ヴィニーシウス・チ・モライス *Vinicius de Moraes*

作曲: アントニーオ・カルロス・ジョビーン *Antonio Carlos Jobim*

行け、わたしの悲しみ。そして彼
女に言う、わたしは、彼女なしには
なにもあり得ないと。言う、おくれ、
祈りながら、彼女が戻ってくるよう
にと。なぜならわたしは もうこれ
以上くるしむことはできないから。

サウダーヂ(さびしい思い出) な
んか もうたくさんだ。現実には、彼
女なしには安らぎはないこと。美し
さもない、ただあるのは悲しみとメ
ランコリー。それがわたしから出て
行かない。わたしから出ない。出て
行かない。

でも もし彼女が帰ってきたら、
もし彼女が帰ったら なんとすてき
なことだろう! 頭がおかしくなる
ほどすばらしいこと! だって海に
泳いでいる魚たちの数よりも もっ
とたくさんキスを わたしは彼女
に上げるだろう、彼女の口に。

わたしの両腕のなかで なんども
抱きしめる。百万の抱擁でなければ
ならない。こんなふうには抱きしめて、
こんなふうにくっついて、こんなふ
うに黙って、抱擁とキスと愛撫は、
かぎりなく……。

ごいっしょに時間をすごしていただき ありがとうございます。
またお会いするのを 楽しみにしております。

構成: 峰 万里恵 プログラム作成: 高場 将美

◆ホームページ: <http://mariemine.web.fc2.com/>